

第8章 計画の評価方法等

第1節 目標値の設定

本計画の進捗と達成状況を評価・管理するため、目標値を以下のとおり設定します。指標については、居住環境や都市機能、公共交通ネットワークの維持・向上を図るため、居住誘導区域内の人口密度、都市機能誘導区域内の各施設の施設数、公共交通利用者数を設定します。

1. 居住誘導に係る目標値・期待される効果

表30 計画の目標値（居住誘導）

目標指標	指標の説明	基準値（現状値）	目標値 （令和27（2045）年）
居住誘導区域内の 人口密度	居住誘導区域内の 人口密度	37人/ha	38人/ha
■指標の考え方 ・居住誘導区域内の人口密度が低下する見込みのところを居住誘導区域内への誘導等を推進することで、居住誘導区域内の人口密度が維持・向上されているかを確認する。			



目標達成により期待される効果	人口密度が維持・向上されることで都市機能施設や公共交通等が将来にわたり維持され、誰もが安心して暮らせる中心拠点が維持されます。
-----------------------	---

2. 都市機能誘導に係る目標値・期待される効果

表 31 計画の目標値（都市機能誘導）

目標指標	指標の説明	基準値（現状値）	目標値 （令和27（2045）年）
都市機能誘導区域内の 誘導施設	都市機能誘導区域内の 誘導施設 （商業機能）	14件	14件
	都市機能誘導区域内の 誘導施設 （医療機能）	2件	2件
	都市機能誘導区域内の 誘導施設 （介護機能）	1件	1件
	都市機能誘導区域内の 誘導施設 （子育て支援機能）	5件	5件
■指標の考え方 （商業機能） ・都市機能誘導区域内において、誘導施設に設定したスーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストアが維持・誘導されているかを確認する。 （医療機能） ・都市機能誘導区域内において、誘導施設に設定した病院が維持・誘導されているかを確認する。 （介護機能） ・都市機能誘導区域内において、誘導施設に設定した地域包括支援センターが維持・誘導されているかを確認する。 （子育て支援機能） ・都市機能誘導区域内において、誘導施設に設定した保育所、認定こども園が維持・誘導されているかを確認する。			



目標達成により期待 される効果	都市機能誘導区域内において、誘導施設の適正な立地が維持されることにより、誰もが安心して暮らせる豊かな生活環境の確保が期待されます。
--------------------	---

3. 公共交通に係る目標値・期待される効果

表 32 計画の目標値（公共交通）

目標指標	指標の説明	基準値（現状値）	目標値 （令和27（2045）年）
公共交通ネットワーク	公共交通利用者数 （年間）	21,930人/年	31,846人/年
■指標の考え方 ・中心拠点内及び中心拠点と地域拠点・主要な都市機能施設を結ぶ公共交通を再構築することにより、公共交通（※）の利用者数が維持・向上されているかを確認する。 ※現状値は路線バス・おでかけミニバスの数値。目標値は目標年時点での交通モードの数値を想定。			



目標達成により期待される効果	公共交通の利用者数が維持・向上されることで、自家用車依存が低下し、既存の公共交通ネットワークの維持や新たな公共交通システムへの転換が進み、誰もが安心して暮らせる居住環境が実現されます。
------------------------------	---

第2節 計画の評価方法

本計画は、概ね20年後の令和27（2045）年頃を目標年次としますが、概ね5年を1サイクルとして、本計画に基づく誘導施策・事業の実施状況の確認や目標指標の達成状況の評価・分析を行った上で、PDCAサイクルを繰り返し、計画の目標実現を目指します。

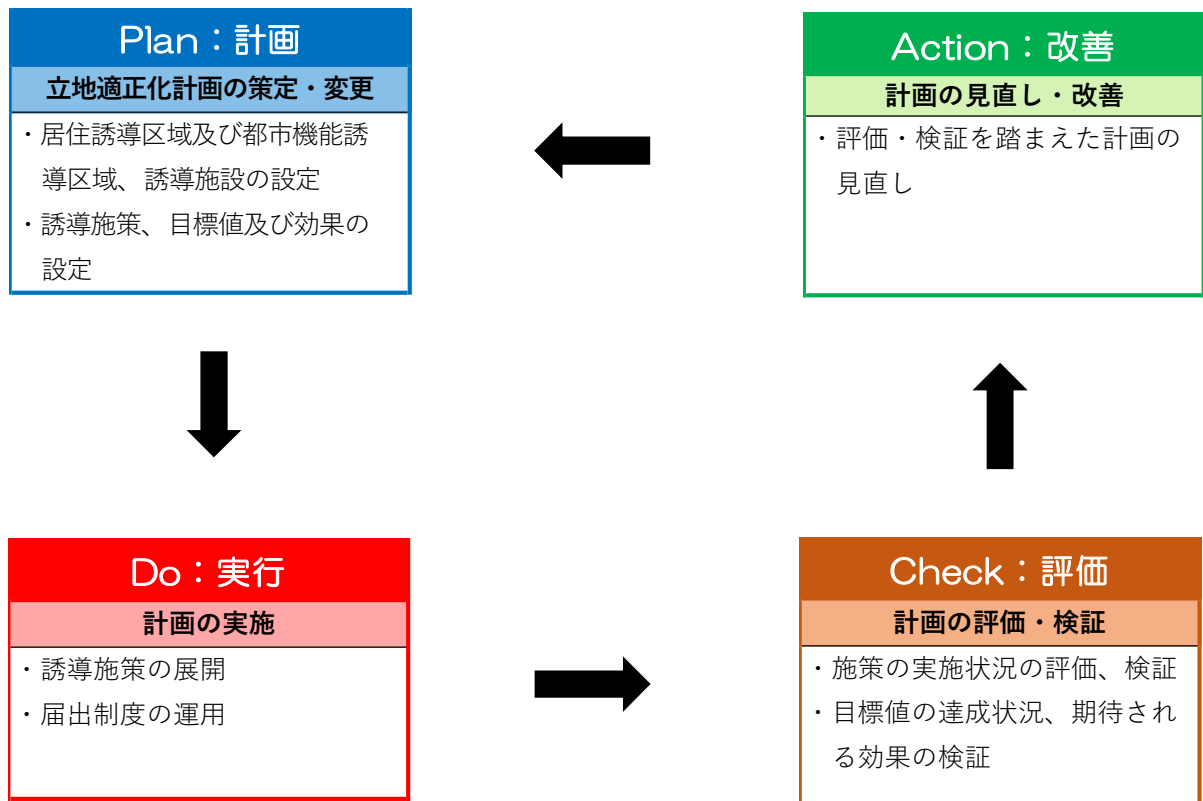


図75 PDCAサイクルによる評価・改善